

日医認定産業医制度研修会開催一覧

◇産業保健部◇

開催日時	開催場所	主なテーマおよび講師	単位数	連絡先
平成29年4月11日(火) 18:30～20:30	静内エクリプスホテル (新ひだか) 定員:50名 (事前に申し込みが必要です)	・ストレスチェックに係る面接指導について 札幌心身医療研究所長 久村 正也	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申込みはHPにて
平成29年4月14日(金) 18:30～20:30	札幌市医師会館 (札幌市) 定員:200名 参加費:1,000円 ※札幌市産業医協議会 会員は無料 (事前の申し込みは不要です)	・政府が進める健康経営施策と職場での導入・推進の方法 産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学研究室教授 産業医実務研修センター長 森 晃爾	基礎研修 後期2 生涯研修 更新2	札幌市医師会 (011-611-4181)
平成29年5月9日(火) 18:30～20:30	岩見沢平安閣 (岩見沢市) 定員:60名 (事前に申し込みが必要です)	・ストレスチェックに係る面接指導について 札幌心身医療研究所長 久村 正也 ※4月11日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申込みはHPにて
平成29年5月15日(月) 18:30～20:30	アパホテル帯広駅前 (帯広市) 定員:50名 (事前に申し込みが必要です)	・健康診断と事後措置 北海道労働保健管理協会札幌総合健康センター所長 原 俊之	生涯研修 専門2	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申込みはHPにて
平成29年5月19日(金) 19:00～20:30	ACU(大会議室) (札幌市) 年会費:2,000円 参加費:2,000円	北海道リワーク勉強会 ・リワークでやるべき認知行動療法、職場で やるべき認知行動療法 認知行動療法センター長 大野 裕	生涯研修 専門1.5	北海道リワーク 勉強会事務局 札幌駅前クリニック (011-280-0556) お申込みはHPにて
平成29年5月24日(水) 18:30～20:30	ホテルリソル (函館市) 定員:30名 (事前に申し込みが必要です)	・化学物質のリスクアセスメントについて 北海道労働保健管理協会産業保健部次長 相澤 和幸 ※4月10日の同テーマの研修会を受講された方は受講不可	生涯研修 専門1・実地1	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) お申込みはHPにて
平成29年6月17日(土) 13:30～16:30	札幌コンベンションセンター (札幌市) 定員:100名 受講料:5,000円 ※総会・学術講演会 参加者は3,000円 (事前の申し込みは不要です)	—第58回日本心身医学会総会・学術講演会— ・受けよう、活かそう、ストレスチェック! 横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセンター長 山本 晴義 ・職場における困難事例への対応 中部労災病院心療内科部長・勤労者メンタルヘルスセンター長 芦原 睦 三菱重工株式会社 大江西健康管理科部長 石川 浩二	生涯研修 更新1・実地2	第58回日本心身医学会 運営事務局 (011-272-2151) jspm58@c-linkage.co.jp
平成29年12月1日(金) 9:40～17:00	中央労働災害防止協会 (札幌市) 定員:60名 受講料: THP登録者 18,510円 中災防協会賛助会員 18,510円 一般 21,600円 (事前に申し込みが必要です)	—平成29年度第17回実務向上研修— ・働く人の健康づくりの動向 中央労働災害防止協会 ・セルフケアに役立つマインドフルネス・スキル 慶應義塾大学学部精神・神経科学教室 特任助教 二宮 朗 ・身体の使い方から考え直す『心身の在り方』 身体技法研究者 甲野 陽紀	生涯研修 専門5	中央労働災害防止協会 北海道安全衛生 サービスセンター (011-512-2031) 受講資格: 健康測定専門研修修了医 師および日医認定産業医

*開催日が**太字**のものは、本号より新たに掲載されたもので、現在日医認定産業医制度指定研修会として日本医師会に承認申請中です。

注1:新規認定のためには、基礎研修50単位以上(前期研修14単位以上、実地研修10単位以上、後期研修26単位以上の合計50単位以上)の修得が必要です(前期研修については、総論2単位・健康管理2単位・メンタルヘルス対策1単位・健康保持増進1単位・作業環境管理2単位・作業管理2単位・有害業務管理2単位・産業医活動の実地2単位のそれぞれの単位修得が必須)。

注2:更新認定のためには、認定取得後の5年間に生涯研修20単位以上(更新研修、実地研修、専門研修各1単位以上の合計20単位以上)の修得が必要です。